

平成 23 年 7 月 21 日
青森労災病院 検査科 千葉祐二

東日本大震災派遣報告（4回目）

派遣地 岩手県大船渡市内避難所
派遣期間 平成 23 年 7 月 15 日（実活動 7 月 15 日）
対象避難所 ・大船渡市中央公民館（カメリヤホール）
・大船渡地区公民館
・大船渡市民文化会館/市民図書館（リアスホール）
活動内容 <エコノミークラス症候群検診>
・避難者の深部静脈血栓症発症リスク調査
・超音波検査による深部静脈血栓の有無とヒラメ静脈最大血管径
・弾性ストッキング配布とその履き方指導
派遣スタッフ 盛岡市立病院のスタッフを中心とした合同チーム（計 6 名）
検診実施人数 39 名

上記の活動で超音波検査担当をしました。

岩手県の中でも大船渡市は比較的仮設住宅への移設がすみやかに行われていたと思われ、避難所に残っている方が少ない印象を受けた。震災後この地域へエコノミークラス症候群検診として介入した医療チームはどこもないので、エコノミークラス症候群の予防と啓蒙活動に多少なりとも貢献したことが挙げられると思う。

